

大沼由紀新作舞踊公演

O
t
o

n
o

t
a
b
i
b
i
t
o



Foto: David Taranco

2021年11月6日(土) 開場17:30 開演18:00 座・高円寺2 (杉並区立杉並芸術会館)

大沼由紀新作舞踊公演

大沼由紀 Yuki Onuma



福島県会津若松市出身。

日本大学芸術学部音楽学科を卒業後、山川三太氏率いる銀テント「究竟頂」に入団。退団後、アスベスト館にて暗黒舞踊創始者、土方巽氏に師事。その後ピアニストとして活動する中でフラメンコに出会い、佐藤佑子氏に師事。1992年に渡西し、マドリッド、セビージャ、ヘレス・デ・ラ・フロンテラで研鑽を積み1994年に帰国。1996年日本フラメンコ協会第5回新人公演にて努力賞受賞。1999年中野にエストゥディオブレニャ設立。

その後も渡西を繰り返し、メルセデス・ルイス、ソラジャ・クラビホ、コンチャ・バルガス、ベベ・トーレス、アンヘリータ・バルガス等、有名な舞踊家に師事。特にヘレス・デ・ラ・フロンテラのフラメンコに強く影響を受け、ヘレスのスタイルで踊る数少ない踊り手として、舞台活動、教授活動の幅を広げている。

2016年、座・高円寺2での大沼由紀舞踊公演「Espontánea IV」～フラメンコ、自然発生的な～で文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。



西井つよし Tsuyoshi Nishii [ギター]

1974年生まれ、大阪府出身。

早稲田大学在学中にフラメンコと出会い、伊藤しげる、瀬田彰、日野道生の各氏にフラメンコギターを師事。踊り伴奏を学ぶ。モライート・チーコに衝撃を受け、1996年渡西。ヘレス・デ・ラ・フロンテラ、セビージャに1年間滞在し、ディエゴ・デル・モラオに師事。帰国後、東京都内を中心に踊り伴奏でキャリアを重ねる。その後も渡西を繰り返し、ドミンゴ・ルビチ、アントニオ・モジャ、ホセ・ガルベスに師事。自身の伴奏スタイルを模索する。現在は東京以外にも活動を広げ、主に踊り伴奏、カンテ伴奏で活躍している。



三四郎 Sanshiro [パルマ]

2006年日本フラメンコ協会新人公演奨励賞(ソロ)、2007年河上鈴子スペイン舞踊新人賞、2009年日本フラメンコ協会新人公演奨励賞(群舞)を受賞。過去2回のソロリサイタルを開催。2018年新国立劇場「Ay曾根崎心中」にて主演の徳兵衛役(ダブルキャスト)を務める。鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団の中心人物として活躍中。



小谷野宏司 Hiroshi Koyano [パルマ]

栃木県壬生町出身。

大学時代フラメンコに出会う。日本では、杉本明美、今枝友加、吉田久美子等各氏に師事。スペインでは、マヌエル・ベタンソス、ラファエル・カンパージョ等の元で基礎を学ぶ。その後、カルメン・レデスマへの師事をきっかけに、生活に根強く関わるフラメンコに感銘を受け、アンヘリータ・バルガス、コンチャ・バルガス、ルイス・ペーニャに特に強く影響を受けるほか、多数のアーティストに師事。都内タブラオ、イベントに多数出演、現在は渡西を繰り返しながら自身のフラメンコを探し、教授活動も行っている。



下島万乃 Mano Shimojima [チェロ]

1998年、名古屋市生まれ。3歳よりチェロを始める。第12回大阪国際音楽コンクールIIIコンチェルトコース第1位、第4回徳島音楽コンクール弦楽器部門グランプリ、第22回日本クラシック音楽コンクール弦楽器中学生部門第1位(グランプリ)、第72回全日本学生音楽コンクール東京大会チェロ部門大学の部第2位。第26回名古屋演奏会育成塾にて聴衆賞、奨励賞、および名古屋市文化振興事業団賞を受賞。尾高忠明氏指揮、豊田市Jr.オーケストラと共演。「目で聴く耳で観る即興コンサート」、大沼由紀舞踊公演「Magnetismo」、「第45.46回藝大定期室内演奏会」等に出演。現在、チェロを花崎薫、室内楽を、松原勝也、大友肇の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。現在、同大学院修士課程に在籍中。2019～2021年度山田貞夫音楽財団奨励学生。

佐藤浩希 Hiroki Sato [演出]

フラメンコ舞踊・振付・演出家。鍵田真由美と共にアルティソレラ舞踊団を主宰。2004年、文化庁芸術祭大賞受賞。同年、日本人として初めてスペインのフェスティバル・デ・ヘレスに招聘される。代表作「FLAMENCO曾根崎心中」(2018年に「Ay曾根崎心中」に改題)も含め、アルティソレラ公演の全作品の演出・振付を行っている。外部へのフラメンコ振付として、NHKニューイヤーオペラコンサート「カルメン」(2012/2013)、松竹歌舞伎「GOEMON」(2013～)、宝塚雪組「ドン・ジュアン」(2016)、音楽劇「マリウス」(2017/2018)、梅田芸術劇場「ドン・ジュアン」(2019/2021)、宝塚花組「ダンス・オリンピア」(2020)、ミュージカル「ゴヤ-GOYA」(2021)等を担当。

振付・構成：大沼由紀

演出：佐藤浩希

舞台監督：井関景太

音響：新田寛(株)パシフィックアートセンター

照明：北内隆志(株)パシフィックアートセンター

写真：川島浩之

ビデオ撮影：竹下智也(竹下智也写真事務所)

衣装デザイン：大沼由紀

衣装製作：小高光江

宣伝美術：秋山薫子


タイトル題字：石井栄

制作：岸典子

主催：プレーニャ

[後援]  日本フラメンコ協会

福島民報社

 セノビージャ・ハボン



2021年11月6日(土) 開場17:30 開演18:00

座・高円寺2 | JR中央線「高円寺」駅(土日祝日は総武線各駅停車)北口徒歩5分
〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 Tel. 03-3223-7500

[料金] 8,000円(全席指定) [チケット申込開始日] 2021年10月1日

[チケット申込・お問合わせ] 音の旅人公演事務局 otonotabibito1106@gmail.com 03-3319-2280 (FAX・留守番電話対応) HPの申込みフォームもご利用いただけます。 <https://www.yuki-onuma.com/>

※新型コロナウイルスの影響により、公演内容に変更があった場合はホームページにて発表します。

ご来場の皆様へ



現在、新型コロナウイルス感染防止のため、来館時の検温、手指消毒やマスク着用をお願いしております。発熱(37.5度以上)や体調のすぐれない場合、感染者との濃厚接触が疑われる方は、ご来館をお控えくださいますようお願いいたします。また、施設内での大声での会話、面会などはご遠慮ください。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。